

# いばらき柔道整復師会ニュース



平成29年

3/31(金)

Vol.57

公益社団法人茨城県柔道整復師会主催

「テーピング&ストレッチ」

特別公開講座を開催

公益社団法人茨城県柔道整復師会（市川善章会長）主催、茨城県教育委員会、公益財団法人茨城県体育協会後援による、「テーピング&ストレッチ」に関する特別公開講座を1月29日、小美玉市四季文化館みの〜れで開催しました。この公開講座は、痛みの改善や予防テクニックの正しい知識を学校関係の体育指導者やスポーツ少年団などの指導者、学生らに習得してもらおうと開催されたもので約170人の参加者が熱心に聴講しました。講師は、コンディショニングアドバイザーの大隈重信氏が務められました。

講演会を前に主催者を代表して市川会長が挨拶されました。市川会長は、「当法人は柔道整復師業界としては県内唯一の公益社団法人です。我々柔道整復師は、県内で接骨院、整骨院などの名称で施術所を開設しており、日頃、皆様大変お世話になっており、この場をお借りしまして深く御礼を申し上げます。2年後には、『第74回国民体育大会』が本県で開催されることから、本会も県からの要請を受け、アスレティックトレーナーの有資格者を派遣する予定で準備を進めております。このような状況をふまえ今回の特別公開講座を開催させていただきました」と、開催趣旨を述べられました。

### 【痛みについての基礎知識を学ぶ】

まず、アシスタントの佐々木翔平氏から、どんな痛みがあるかという〇×式の8項目の質問が出題され、「痛いときは、じっとしていた方が良い？」などが示され参加者はそれぞれの回答をしました。この中で、侵害受容性疼痛、神経障害性疼痛、混合性疼痛など痛みを引き起こす要因や対処法などの基礎知識を学び、痛みの要因として①柔軟性の欠如②筋力の低下③ストレスなどの対処法の解説がありました。続いて、ストレッチによる痛みの緩和や効果。

「静的ストレッチ」と「筋発揮ストレッチ」2種類の特長や効果などの説明がありました。

### 【ストレッチ効果をたかめるため継続性が大切】

その後、大隈重信氏とアシスタントの指導を受けながら実技指導に取り組みました。参加者の中にはふだんの運動不足から体をさまざまな形で屈伸させるたびに悲鳴をあげる人もいましたが、後半になると「体が軽くなった」「これなら自宅でもできる」「こういうストレッチもあったのか」という納得の声も聞かれました。また、普段からスポーツに取り組んでいる関係者は難易度の高いストレッチにも軽やかな動きでこなしていました。

最後に、テーピングの利用方法の解説。固定することにより動きを制限し痛みを和らげることや動きをサポートすることによってパフォーマンスをあげる例などを紹介。大隈氏は「できないことに遭遇して挑戦すること。普段おこなう体操やストレッチにも、多くの効果があります。健康あつてのライフワークが可能です」と、参加者にストレッチ効果をたかめる継続性の大切さを訴えられました。



ストレッチの実技指導をする  
大隈重信氏（右）と佐々木翔平氏

# 柔道整復師会奉仕団 基礎研修会を開催

平成28年12月4日(日)下妻市において、日本赤十字社茨城県支部 柔道整復師会奉仕団基礎研修会を開催しました。過去の基礎研修会は自治奉仕団、特殊奉仕団等を一堂に会して実施されており、本団団員も受講してきましたが、平日開催のため診療を休んで参加してくれる団員が多く、このような事態を解消するために日曜日の独自開催をする運びとなりました。

研修会は茨城県支部の事業推進課より内藤英男係長、落合寿史主事を講師に招き行われました。主な目的は「赤十字の理解を深めてもらうとともに、赤十字ボランティアとしての自覚を持ち、意識の高揚を図り、活動していくために必要な知識・技術等を身に付け、赤十字活動の一層の推進を図る」ことで、団員約30名が熱心に聴講しました。

研修は午前の部(1)赤十字概論(2)ボランティアについて、午後の部(3)トリアージについて(4)災害時高齢者生活支援 講話(5)災害時高齢者生活支援 実技(6)奉仕活動事例紹介及び意見交換で、充実した内容となりました。

午前の部は、プロジェクターを見ながらの講話で、赤十字思想の誕生、あゆみと活動、そして赤十字7つの基本原則、人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性などを学び、差別なく中立の立場で人類の命と健康を守る奉仕的救護団体であることを改めて認識することができました。

午後の部は、大きな災害時に多数の負傷者が発生した際、現場で負傷者の緊急度、重症度を判定し、治療や搬送の優先順位を決めるトリアージを学ぶことができました。災害現場では人的・物質的に限られた医療資源の中で、一人でも多くの傷病者を救うため、我々柔道整復師がいかに貢献活動できるのかを考える機会となり、災害時救護に対する役割的意識を高めることができました。

最後の意見交換においては、トリアージや避難所生活等に多く発生し二次的災害問題となっているエコノミークラス症候群などについて、活発な意見交換がなされ、団員の赤十字活動に対する意識の高さを知ることができました。

これからも赤十字社の各種訓練や研修に積極的に参加し、災害救護や災害時対応能力を養い、万が一の有事の際には、避難所などにおいてリーダーシップを発揮できる団員が育ってくれる事を願っています。

最後に講義をいただいた、内藤英男係長、落合寿史主事、そしてこの研修会に積極的に参加し熱心に受講していただいた団員各位に心から感謝を申し上げ、本団が初めて主催した赤十字基礎研修会の報告といたします。(奉仕団委員長 荒井健吉)



人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性など基本原則を学んだ講習会

## 赤十字基礎研修会を受講して

県西支部 徳田正義

今回、初めて日本赤十字社の基礎研修会に参加させていただきました。以前から興味はあったのですが、なかなか都合が合わず参加できませんでした。

赤十字とは何を行っているか?どんな組織なのか?を改めて知ることができました。国によっては赤十字のマークを宗教上使えないため三日月にしているという話しも初めて聞けておもしろかったです。トリアージについて緊急時に重症度を判別する時の話しなどは、どんな現場でどんな症状の人がどのような判別をされるかをわかりやすく説明していただきました。もし、現場に自分が遭遇した時に、何が出来るのかなどを想定し、緊迫した気持ちで話しを聞けました。災害時に自分に何ができるのか、真剣に考えさせられる研修となり大変勉強になりました。

## 私の格言・杖言葉

水戸支部長 柏 貴

### 「人間五十年、天下の内をくれば、夢幻のごとくなり・・・」

信長が好んで舞ったという能の一節で、私のなかにたえず去来する言葉です。

さまざまな解釈がありますが、人の世の一生というものは、長いようで短い、一日一日を精一杯生きよ!

60半ばを踏み越えてしまった今、「あるがままに生きなoshi」の心境です。

## 勝田全国マラソンの救護活動に参加して

水戸支部 木村栄作

1月29日(日)第65回勝田全国マラソンが、全国各地から約1万5千人のマラソンランナーが参加され盛大に開催されました。本会からは、救護員として水戸支部より植田千尋、藤田博美、中川文夫、久保田浩将、藁谷和彦、新井俊行、岩本勝久、早川好機、宮部和浩、木村栄作の会員10名が参加し、各会員の持っている技術や知識を発揮しランナーの力になれたと思います。

大会当日は、天気予報では3月上旬の気候になると言われていましたが、曇り空で風も吹いており肌寒いぐらいでした。後半は晴れ間もみえ日が当たると心地が良い気候になりました。ランナーの方に聞いたところ今回の気候はとても走りやすいと言われていた方が多くいました。

各会員は、救護場所である23.5km地点の稲田郵便局、31km地点の西原運動場に分かれ準備を始めました。ベッド、テーピング、アイシング用水、コールドスプレー、トレーナーバッグ、水を各地に配置し、来るランナーの方達を待っていました。

私が待機していた31km地点の西原運動場では、最初はすごく静かなスタートでしたが、トップランナーが独走状態で駆け抜け、その後5分ぐらいおいて2番手のランナーが走り抜けると、それから徐々にランナーの方が増えていき、一人のランナーの方がリタイアしたいから休ませて欲しいとテントに入ってきてから、その後は次から次へとランナーの方が救護のテントに入ってきて来ました。主な症状は背部、腰、股関節、大腿部、膝、下腿部の痛みや痙攣、捻挫、マメができた、また、潰れたなどで、テーピング固定、アイシング、包帯固定、手技療法、ストレッチで各会員が迅速に対応しランナーをレースに素早く復帰させることが出来ました。

私は、今回で2度目の勝田マラソンの救護に参加させていただきましたが、この様な場に参加させていただけるのは自分にとって凄く貴重な体験であり、今後必ず役に立つと思えました。現場で味わう緊張感、ケガをしてすぐに診られる、ランナーの希望に応え迅速にレースに戻す、競技続行出来るか出来ないかの判断、ドクターや看護師、消防の方や地域との連携などもそうですが、何よりランナーの方々の「ありがとう」「治療してもらえたお陰で最後まで走れます」の一言、素晴らしい笑顔でした。私達は普段施術院にいるため、中々このようなことに触れる機会が少なくなっています。今回の現場で学ぶことの大切さや貴重な体験をこれからの治療に生かし地域の人々にしっかりと貢献していきたいと思えます。



救護活動に参加した水戸支部会員

## 第36回つくばマラソン大会に救護員として参加



救護活動に参加した県南支部11名

県南支部 桜井亮

11月20日(日)ランナーには暑くもなく寒くもない絶好のコンディションの中、第36回つくばマラソン大会に、今年で4年目となる救護派遣として、望月末男、齋藤正仁、内館秋男、鮭川秋雄、吉原貴範、永田喜久雄、田中広一、飯塚丈仁、高巢定夫、山崎久史、桜井亮の11人で参加しました。

早朝より準備に当たり28.5km地点で今回用意した300枚の受付用紙をはるかに上回るランナー400名以上の救護活動と、リタイアされた4人の搬送車への連絡、保護をしました。

主な手当の内容として、転倒による捻挫、膝・腰・股関節等の痛み、筋肉疲労による張り、痙攣、マメを潰した、靴擦れなどがあり、包帯、エラスチックテープによる固定、キネシオロジーテープ等によるテーピング、手技療法によるストレッチ、アイシング等の処置をしました。

主催者よりテント、テーブル、椅子、ストーブなどを用意していただき、11時前には早めの昼食を済ませて救護活動の体制を整えました。

11時30分位から手当てを求めるランナーが続々と増え、午後2時くらいまで皆休みなく動き回り最高の微笑みと最善の施術をさせていただきました。

前回の反省を活かし人員の配置役割等上手いき、ランナーの誘導などかなり効率よくできたと思います。

ベッド、椅子、用具の置き場も前回の反省を生かしたせいか、気が利いていました。特にプライベートを確保できるスペースを作ったのは役に立ちました。

簡易ベッド、テープ類、コールドスプレー、はさみ、毛布、給水タンクなど良い準備が出来たと思います。テープ、スプレー等はこんなに要らないだろうと思う量でしたが、少し残っただけで、来年は今年以上の量を準備すべきだと思います。

一つ課題は、「汗で濡れた肌へのテーピングです」次回への課題を残しました。

各会員が、一人ひとりのランナーに和やかに適切に手当てをし、具合の確認をして再スタートを助けることが出来たのは見事でした。

70才を超えた先輩ランナーから、「よし、もうひと頑張り、ありがとう」としっかりしたお礼の一言をもらったり、とても美しい20代の女性が深々とお辞儀をして笑顔で「ありがとうございます」と言って走って行くのを皆で満面の笑みで見送らせてもらったり、以前患者さんで来院されていた方が走りながら手を振り「先生！」と大きな声をかけてくれたり、たくさんのランナーから「ありがとう」の言葉をいただき、とても気持ちの良い充実した一日となりました。

また、今年も救護者との受け答えに花を咲かせながらも手は良い仕事をする愉快的な先生方との楽しい時をご一緒出来たことが何よりでした。

# 空手大会の救護を見学して

県西支部 青木竜也

11月6日(日) 県西支部筑西地区長の荒井健吉先生に声をかけていただき、第41回関東地区空手道選手権大会の救護を見学する機会を得ました。快晴で関東大会ということもあり、柔道大会でよく使用される筑西市下館総合体育館の駐車場は、車を止めるのが困るほどの盛況で、また駐車場から会場に向かう数百メートルの間で、いろいろな方が荒井先生にあいさつや、お世話になってありがとうと声をかけていて、荒井先生の空手界での救護活動における貢献度が分かりました。

会場に入ると筑波大学付属病院の医師と看護師が各一名ずつおられ、荒井先生と私で自己紹介とあいさつを交わしました。私は見学することを重視し負傷者の誘導のみを行い、医師や荒井先生の助手としての処置活動は一切しませんでした。

試合が盛り上がるにつれて少しずつ負傷者が救護席に来たり、試合場に呼ばれ駆け付けたりしましたが、組手による打撃の負傷者が多く、特に小学生や中学生に多発していました。

今回の救護見学で良かったことは、顔面部の外傷について学べたこと、脳震盪の評価を理解できたこと、過呼吸症候群の対処法や眼窩底骨折を含め、眼の外傷について学べたことでした。また外傷を診る

際の健側、患側の左右差を必ず見ることを再確認したことや、負傷者の心のフォロー、応急処置後、選手の動きを観察してからその場を立ち去るなど、今まで気づかなかったことや、分かっていることも忘れがちなことを思い出す良い機会になりました。

午前11時から午後6時まで救護見学をさせていただきましたが、あっという間に過ぎたように感じました。選手の怪我を見るのはもちろんですが、心身両面から人を見ることが重要だと思いました。

会場を離れる際、スーパームーンの前日ということで、満月がとても綺麗に見え、外の空気が美味しく、月の光に映る荒井先生の後ろ姿が会場に入る前より大きく見えました。

大変貴重な経験をさせていただき、城戸宗裕医師と前田絵理佳看護師、柔道整復師の荒井健吉先生に感謝の意を述べ結びたい。 克己



貴重な経験をさせていただいた城戸宗裕医師と前田絵理佳看護師、柔道整復師の荒井健吉先生

my hobby

## ワカサギ釣り

岩本勝久 (水戸支部)



ワカサギ釣りと言えば、仕掛けに鈴なりに釣れるイメージの方も多いと思いますが、私のホームグラウンドの裏磐梯松原湖では、小さな当たりを合わせて1匹ずつ釣っていきます。初めて挑戦した時には、1日の釣果がわずか2匹と散々でしたが、今では釣り具メーカーの新製品テストなどのお手伝いを

させていただけるようになりました。氷上のワカサギ釣りは、1月中旬から3月中旬までの2カ月間と短いですが、氷の穴から釣り上がってくるワカサギは趣があります。食べても美味しいワカサギ釣りを皆さんもいかがですか？

## 会員になって思う！

県西支部 山田雅樹



平成28年1月、父 山田悦宏より結城整骨院を引継ぎ、入会させていただきました。21歳で柔道整復師免許を取得、30歳まで修行を積み、自宅に戻って13年目になります。日々の忙しさに取り紛れ、整復師会のことは父に丸投げ状態で、今会員になって思うことは、「もう少し早く入会していれば」と、後悔しています。

仕事上の疑問や相談に対し気軽に答えていただける、筑西地区長の荒井先生には、診療中度々押し掛け相談に乗っていただき、大変有り難く心強く思いました。また、学会や講習会に参加することが増え、先生方の施術法や研究は新鮮なもので、もう少し早く入会していれば自分のためにも、患者様のためにもなったと思い、自分の未熟さを痛感しました。

これからも、地域の人々や整復師会のお役に立てるよう、また〇〇な二代目などと言われぬよう真面目に仕事をします。

今後ともよろしく願いいたします。

## 県西ゴルフ会コンペ 忘年会に参加して



県西ゴルフ会忘年コンペに参加した会員

### 県西支部 徳田正義

12月23日(祝・金)ましこゴルフ倶楽部で行われた県西ゴルフ会忘年コンペに参加しました。

春からゴルフを始め、数回ラウンドしただけなので正直下手でボールが手前に転がったり林や池に入ったりしましたがゴルフを漫喫できました。このような中で一番の楽しみは、一緒にプレーした方のお話を聞けることです。

特に仕事に関する成功例や失敗談を聞いて取り入れれば、自分が実際に経験していなくても、したことと同じようになり大変参考になると思います。

プレー終了後、下妻まで移動し忘年会兼表彰式が行われ、優勝は、グロス98・ハンデ36・ネット62で菊池尚久会員、準優勝は、後藤健雄会員、私はブービー賞をいただきました。

その後、県西ゴルフ会から、今回参加していただいた公益社団法人茨城県柔道整復師会市川善章会長へ帰一功労賞受賞のお祝いの品を贈呈することとなり、中村文男会員のご配慮で、下妻市にある私の実家(徳田酒店<http://www.tokutasaketen.com> ☎0296-44-2229)で地元の素材を使って作ったオリジナル日本酒「プレミアム嶺湖」をプレゼントいたしました。

市川会長は、その場で参加者に振る舞ってくださり、その際、中村会員から、店に関する新聞記事のスクラップやカタログを紹介していただき、また、飲んで気に入った会員が後日わざわざ店まで足を運んでお買い求めいただいたと両親から聞き親子共々うれしい限りです!

そんな交流が深まるゴルフ会ですので、ぜひ皆様も参加してみたいかがでしょうか?

### ■新入会員■



**高野 俊瑞**(たかの としみつ)  
昭和62年10月14日生まれ  
たかの接骨院 土浦市港町2-7-8  
029-828-7665



**富田 匠**(とみた たくみ)  
昭和55年10月20日生まれ  
富田整骨院 桜川市真壁町190-1  
029-655-1293

### 《訃報》

高巢 忠造(たかす ちゅうぞう)  
県南支部 高巢定夫会員の父  
1月20日死去 90歳

横倉 稔(よこくら みのる)  
県西支部 横倉浩二会員の父  
1月22日死去 86歳

竹越 武久(たけこし たけひさ)  
本会相談役 県南支部会員 竹越謙一会員の父  
2月2日死去 87歳

森 好徳(もり よしのり)  
県西支部会員  
3月15日死去 54歳

## 救護員派遣の近況

### 12月11日(日)

#### 第7回筑波山トレイルラン大会

旧ユースホテル〜葉王院分岐点

新井誠一、出沼秀樹、八木下雅道、中根豊(県南支部)  
7名のランナーにテーピング、アイシング、湿布等の処置をしました。  
葉王院

#### 幸田典紀(県南支部)

2名のランナーにテーピング等の処置をしました。

筑波山山頂

#### 滝澤満、山田雅樹(県西支部)

5名のランナーにテーピング、湿布、包帯固定等の処置をしました。

つくばねオートキャンプ場

#### 猪野淳、塚本孝一(県西支部)

3名のランナーにアイシング等の処置をしました。

### 1月29日(日)

#### 第65回勝田全国マラソン大会

ひたちなか市稲田郵便局敷地内(23.5km地点)

藁谷和彦、植田千尋、中川文夫、藤田博美、宮部和浩(水戸支部)  
198名のランナーにテーピング、アイシング、ストレッチ等の処置をしました。

ひたちなか市西原公園グランド第1内(31km地点)

岩本勝久、新井俊行、木村栄作、久保田浩将、早川好機(水戸支部)  
176名のランナーにテーピング、アイシング、ストレッチ等の処置をしました。  
茨城県柔道選手権大会兼関東柔道選手権大会県予選(男女)

茨城県武道館 柔道場

#### 川又充史、大賀隆雄(県北支部)

負傷者なし

### 2月26日(日)

#### 第4回関東近畿女子バスケットボール交流大会

水戸市青柳公園市民体育館

#### 助川悟志、高田敬(水戸支部)

3名の選手にテーピング等の処置をしました。

#### 茨城県柔道段別選手権大会・高段者大会

茨城県武道館 柔道場

#### 加藤昂(県南支部)、鈴木恵理(まつもと接骨院スタッフ)

負傷者なし

### 3月5日(日)

#### 関東柔道選手権大会兼全日本柔道選手権大会関東地区予選

#### 関東女子柔道選手権大会兼全日本女子柔道選手権大会関東地区予選

茨城県武道館 柔道場

#### 一ツ柳明(県南支部)、佐間田仁(水戸支部)

5名の選手にテーピング、湿布等の処置をしました。

## 編集後記

うららかな春の気配に気も緩みがちの今日この頃ですが、ふと、昨今の柔整事情に思いを巡らすと、寝ぼけまなこも瞬時に覚めるのは、私だけでしょうか。とは言え、公益社団法人茨城県柔道整復師会と言う大きな船に身を置いていると思うと、やや難破ぎみの日があっても気が休まるのも事実です。

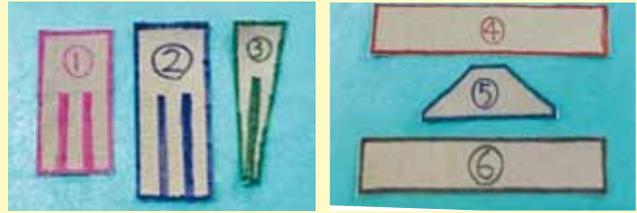
私たち会員が、公益社団法人としての自覚と誇りを持ち、柔道、野球、マラソンなど様々なスポーツイベントに参加し、救護ボランティアとして公益活動に取り組むこと。そして、各支部や部会で開催される講習会に積極的に参加することは、多少の時間はかかっても必ず地域からの評価につながり、これからの業務の大きな支えとなるはずで

さて私事ですが、今号をもって広報委員を卒業し若手と交代することになりました。引き続き広報紙の充実のため、より一層のご協力をお願いします。

(広報委員 早乙女聡)

茨整発 (県民健康講座)

外反母趾テーピングの貼り方



①～⑥の6つのテーピングを使います。

①のテーピング

1. 親指をひらくように引っ張りながら貼ります。



2. 親指をひらくように親指の下を通りながら貼ります。



3. 親指をひらくように親指の上を通りながら貼ります。



②のテーピング

①のテーピングと同じように貼ります。



③のテーピング

1. 小指を開くように引っ張りながら小指の下を通り一周し貼ります。



2. 小指を開くように引っ張りながら小指の上を通り一周し貼ります。



④のテーピング

足指先の反り返りが軽減されるように、足裏のアーチを作るため、指のつけねから下に引っ張りながらアキレス腱の上まで貼ります。



⑤のテーピング

足指先の反り返りがさらに軽減されるように、指の付け根から下に引っ張りながら貼ります。



⑥のテーピング

さらに安定させるために親指の付け根から始まり、足裏の付け根中指に合わせてはり、下に引っ張りながら一周させて完成です。



指と指との重なりがなくなり、親指がまっすぐのび、歩くのに痛みが軽減されます。



【運動療法】

1. グー、チョコキ、パー体操

両足を伸ばして座り、グー、チョコキ、パーを足指で作ります。(足裏全体で地面をとらえるには、足指の力を復活させることが大事です。)

2. ボールマッサージ

テニスボールを足の下に置きます。土踏まずを中心にグリグリと踏みます。(気持ちいいと感じる程度!!) 小指の付け根からかかとへ、親指の付け根からかかとへ、中指からかかとへ、と足裏をまんべんなくボールを転がします。

3. タオルたぐり寄せ

フェイスタオルやバスタオルを床に広げて、両足をタオルの上に置き、足指でタオルをつまんでたぐり寄せます。片足ずつやりましょう。これを5回繰り返します。

正しく運動療法を行えば改善、痛みが軽減がされます。もし痛みが強くなる場合は中止し、専門の医療機関を受診してください。

(広報委員 渡邊憲史)

物理療法機器、介護福祉具  
健康機器販売

# 関東医療商事

〒319-2221 茨城県常陸大宮市八田 1127-5  
TEL 0295-53-4211 FAX 0295-53-3383



医療機器

# 株式会社 ユタカ商事

〒273-0002  
千葉県船橋市東船橋 5-3-6  
TEL 047 (422) 1311 (代)  
FAX 047 (423) 1190

URL:<http://www.yutaka-me.net>

アフラックは  
がん保険  
契約件数 **No.1**

# 新 生きるための がん保険 Days

「生きる」を創る。 **北関東ファミリー株式会社**  
**Afiac** ☎ 0120-48-3376  
〒310-0842 茨城県水戸市けやき台2-14-1  
FAX 029-248-8522

**ご存知ですか？ 茨城県は**

全国自動車盗難件数 **増加率**



年々増え続ける  
犯罪やトラブル防止のため、  
防犯カメラの設置をお勧めします。



ただいま**組合員様特別価格**で ご提供中



**株式会社システムコピー販売**

お客様相談室 ☎ 0120-916-903

<http://www.systemcopy.com/>

**つば本社** つくば市上ノ室 285-1 **水戸営業所** 水戸市米沢町 108-2

しもつま  
温泉 **ビアスパークしもつま**  
下妻市長塚乙 70-3 ☎0296-30-5121



日帰り天然温泉・ホテル・宴会  
地ビールレストラン・農産物直売所

印刷のことなら全ておまかせ！

# 株式会社 タナカ

代表取締役 田中 司郎

情報メディア営業部 水戸営業所

〒310-0847 水戸市米沢町1-1  
TEL 029 (247) 1810 FAX 029 (247) 9568  
URL <http://www.tanakanet.co.jp>

**保険の見直しをしてみませんか？**  
**あなたに『ベストな保険』のお手伝いをいたします！**



三井住友海上火災保険 ハイグレードエーเจント 日本興亜損害保険 特級代理店  
三井住友海上あいおい生命 プレミアムパートナーズクラブ NKS Jひまわり生命保険

# サンツクバ 株式会社

お問い合わせは **TEL.029-841-5858**

サンツクバ  検索 詳しくはホームページをご覧ください。  
土浦市中村南 1-2-23 URL <http://www.suntsukuba.com>

**サービス継続率88%以上!!**

月額 **3,000円** (税抜) で  
**ホームページを制作**

ほねぺじは接・整骨院専門の  
格安ホームページ制作サービスです  
★初期制作費として初回のみ別途30,000円(税抜)がかかります。

お問い合わせ・お申込みはこちら  
**029-828-4055** ほねぺじ 検索

運営会社：株式会社保険金支払審査機構 〒305-0853 茨城県つくば市榎戸748-2



団体保険は接骨院経営者の基礎となる保険です!

## 柔道整復師 総合補償制度

総合保険コンサルタント・賛助会員  
**アームリンク株式会社**

代表取締役 小林 和義  
TEL 027-255-3233  
URL <http://armlink.org>



ニッセイ長寿生存保険(低解約払戻金型)

# GranAge

“大切な人を想う”のいちばん近くで。

 **日本生命**

シアワセを記憶する、ホテル



伊勢屋グループ  
**水戸プラザホテル** Tel.029-305-8111(代表)

〒310-0851 茨城県水戸市千波町2078-1 <http://www.mito-plaza.jp/>

## 住宅の事なら何でもご相談ください

上質な美しさと、快適で安心な最上級の住み心地、セキスイハイム。

セキスイハイム

EXPO GRAND TOYOU  
新築・建替え リフォーム  
アパート 不動産売買・仲介

おかげでなんと  
**2万円** 以内  
茨城県内

お問合せ・資料請求・ご相談・展示場へのご来場予約は  
**0120-013-816** または **茨城セキスイハイム** 検索

茨城セキスイハイム株式会社 〒310-0804 茨城県水戸市白梅 1-7-11

## TRIO

信頼のネットワーク  
地域密着  
**Door to Door**

### トリオ医科 株式会社

〒300-1216 茨城県牛久市神谷 6-6-1  
TEL029(873)8553 FAX029(873)8796  
東京(営)大田区・北関東(営)館林

使い勝手の良い操作性はもちろん、療養費改正等の保険改正にすばやく対応。迅速サポートで大好評を頂いている「三四郎くん」は、常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。



他社からのデータ移動もお任せ下さい  
※一部ご希望に添えない場合があります。

オプションでさらに便利!

保険証リーダー サーマルプリンタ バーコードシステム

**株式会社 エス・エス・ビー**

〒305-0853 茨城県つくば市榎戸748-2 沼尻産業ビル  
TEL 029-839-0346 / FAX 029-838-0874

Web <http://www.sanshiro-net.co.jp>

最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース  
▶▶ <http://www.jusei-news.com/>